

令和 6 年度（2024 年度）

事業報告書

社会福祉法人 ありんこ

◇本部	1 ページ～
◇障害福祉サービス事業所ありんこ	5 ページ～
◇ライフサポートセンターさかえ	
・ GH あさひ GH そよかぜ	12 ページ～
・ 短期入所事業所 ありが亭	14 ページ～
◇ライフサポートセンターありんこ	
・ 富士北麓障がい者相談支援センターありんこ	15 ページ～
・ 障がい者就業・生活支援センターありす	17 ページ～

社会福祉法人ありんこ
令和 6 年度事業報告書
(令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日)

【法人概要】

種類及び名称	社会福祉法人ありんこ		
所 在 地	山梨県富士吉田市大明見 1-13-28	Tel) 0555-22-7217	
代 表 者	理事長 渡 邊 秀 樹		
設立年月日	平成 13 年 10 月 26 日		

【法人の事業】

■第二種社会福祉事業（障害福祉サービス事業）の実施

種類及び名称	障害福祉サービス事業所ありんこ		
所 在 地	山梨県富士吉田市大明見 1-13-28		
電 話 番 号	0555-22-7217	F A X 番号	0555-22-7218
代 表 者	施設長 桑 原 由 紀 枝	サービス管理責任者	金 森 大
事業開始年月日	平成 22 年 4 月 1 日	開 所 時 間	9 時 ～ 16 時 00 分（7.0 時間）
開 所 日	月 ～ 金曜日（土・日の行事あり） カフェ 火 ～ 日曜日		
内 容	訓練科目	・調理、清掃、洗濯、裁縫、草取り等家事訓練 ・体力づくり ・コミュニケーション訓練、金銭管理訓練、衛生管理訓練、生産従事訓練 ・社会人マナー訓練、社会資源活用体験 ・就職活動相談及び支援 ・企業実習、施設外就労、施設外支援 ・パソコン技能、運転免許取得等の学習	
	授産種目	・紙器加工、精密部品処理、野草他サンプル等の袋詰めなどの簡易受注作業 ・お弁当、お菓子、手工芸品、加工品などの自主製品づくりと販売活動	
	他の活動	・福祉事業所を利用して就職された方の就労定着・生活支援 ・アルミ缶や古紙などの回収、分別 ・バザーや模擬店の出店 ・カフェ運営 ・各種研修会への参加 ・地域との交流事業 ・レクレーション活動 ・余暇活動、創作活動支援 ・ボランティア活動	

■第二種社会福祉事業（障害福祉サービス事業）の実施

種類及び名称	グループホームあさひ		
所 在 地	山梨県富士吉田市旭 2-15-12	Tel) 0555-22-3770	
代 表 者	管理者 桑原 由紀枝	サービス管理責任者	桑 原 節 子
事業開始年月日	平成 30 年 4 月 1 日	バックアップ施設	障害福祉サービス事業所ありんこ

従たる事業所	グループホームそよかぜ		
所 在 地	山梨県富士吉田市下吉田 5-13-18	Tel) 0555-23-0294	
事業開始年月日	平成 19 年 11 月 1 日		

事業の運営方針	障がいをもつ方が、地域で当たり前に生活できるような環境づくりを目指し、本人の意思及び人格を尊重し、健全で主体的な生活が送れるように、利用者の立場に立って援助を行い、自立生活や地域活動の充実を図ります。		
---------	--	--	--

■第二種社会福祉事業（障害福祉サービス事業）の実施

種類及び名称	短期入所事業所ありが亭		
所在地	山梨県富士吉田市旭 2-15-12		Tel) 0555-22-3770
事業開始年月日	平成 30 年 4 月 1 日	利用定員	3 名
事業の運営方針	居宅の生活が一時的に困難になった障がい者に対し入浴・排せつ・食事・着替えの介助・見守りその他必要なサービスを提供して、日常生活上の支援を行います。		

■第二種社会福祉事業（相談支援事業）の実施

種類及び名称	富士北麓障がい者相談支援センターありんこ * 指定特定・指定障害児相談＝富士吉田市指定 指定一般相談＝山梨県指定		
所在地	山梨県富士吉田市新西原 3-4-20		
電話番号	0555-30-0505	F A X 番号	0555-30-0506
代表者	管理者 角 張 洋 和	事業開始年月日	平成 23 年 4 月 1 日
事業の目的と内容	・障がい者、家族、介護者、関係者等（以下「障がい者等」という。）からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言、その他の障がい福祉サービスの利用等、必要な支援を行うことにより、障がい者等が自立した生活または社会生活を営むことが出来るようにします。 ・サービス等利用計画・障害児支援利用計画を作成し、モニタリングを実施し継続支援を行います。 ・地域移行支援、地域定着支援を行います。		

■公益事業の実施

種類及び名称	障がい者就業・生活支援センターありす（国、県からの委託事業）		
所在地	山梨県富士吉田市新西原 3-4-20		
電話番号	0555-30-0505	F A X 番号	0555-30-0506
代表者	センター長 三 浦 誠	事業開始年月日	平成 23 年 4 月 1 日
事業の目的と内容	就職を希望する障がい者、職場不適応により離職した障がい者や離職のおそれがある在職中の障がい者に対し、就業及びこれに伴う日常生活、社会生活上の支援を行うことにより、障がい者の職業生活における自立を図ります。		

■公益事業の実施

種類及び名称	訪問型職場適応援助者事業		
所在地	山梨県富士吉田市新西原 3-4-20		
電話番号	0555-30-0505	F A X 番号	0555-30-0506
代表者	管理者 三 浦 誠	事業開始年月日	平成 29 年 4 月 1 日
職員	第一号ジョブコーチ 2名（兼務）		
事業の目的と内容	障がい者の職場適応に課題がある場合に、職場に出向いて、障がい特性を踏まえた専門的な支援を行い、障がい者の職場適応を図ることを目的としています		

【法人の運営】

＜理事会の開催＞

	開催年月日	出席者数	決 議 事 項
1	R6. 7. 3	5 (1)	・ 令和 5年度事業報告及び決算の承認について ・ 定款変更について ・ 第1回評議員会の招集について ・ 理事長・業務理事活動報告について ・ その他
2	R6. 10. 2	6 (2)	・ 法人監査の結果について ・ 各種契約について ・ 理事長・業務理事活動報告について ・ その他
3	R7. 3. 21	6 (2)	・ 令和6年度第二次補正予算（案）について ・ 令和7年度事業計画（案）について ・ 平成7年度収支予算（案）について ・ 規定の変更について ・ 第2回評議員会の招集について ・ 理事長・業務理事活動報告について ・ その他

() は監事出席

＜評議員会の開催＞

	開催年月日	出席者数	決 議 事 項
1	R6. 7. 12	5	・ 令和5年度事業報告について ・ 令和5年度収支決算の承認について ・ 定款変更について ・ その他
3	R7. 3. 28	5	・ 令和6年度第一次補正予算（案）について ・ 令和7年度事業計画（案）について ・ 令和7年度収支予算（案）について ・ 規定の変更について ・ 役員改選について ・ その他

＜その他の活動＞

月	日	曜	主な活動内容
4	1	月	新年度開始式
5	31	金	令和5年度消費税申告・納税
6	27	木	法人内部監査
7	16	火	甲府法務局へ資産変更登記
8	4	日	高座神社祭典 参列
9	5	木	法人監査
10	17	木	法人研修「A E D講習会」
1	26	日	新年互例会
2	6	木	初午祭
2	20	木	法人研修「虐待の芽を摘むには」

＜一般寄付金＞ （順不同）

岡田俊哉 様 勝俣高彦 様 連合山梨 様

＜物品寄付＞ （順不同）

富士の緑を守る会 様 富士吉田市立青少年センター 様
 明見中学校環境美化委員会 様 富士北稜高校 様
 テレビ山梨厚生文化事業団 様 クロダ（株） 様 慈光院 様
 ファルマフード研究所 様 亀齡堂 様 富士牛乳 様 三枝農園 様
 住友生命山梨支社ふじやま支部 様 住友生命労働組下山梨支部 様
 （株）梶原工業所 様 山一酒店 様
 佐藤正二 様 織田すみえ 様 ありんこ保護者 様

障害福祉サービス事業所ありんこ

令和6年度事業報告書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

1. 利用者

定 員 生活訓練 6名 就労移行 6名 就労定着 20名 就労B型 40名
 年度末現員 生活訓練 0名 就労移行 5名 就労定着 2名 就労B型 37名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生活訓練	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就労移行	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
就労定着	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	2	2
就労B型	36	37	37	37	37	37	37	37	38	37	37	37
合 計	46	46	46	45	45	45	45	45	46	45	44	44

就労移行 = 4月 1名利用終了(継続B型へ)

就労B型 = 5月 1名利用開始(就労移行より)

12月 1名利用開始

1月 1名利用終了

支給決定市町村 富士吉田市 38名 富士河口湖町 4名
 (実人数) 西桂町 2名 都留市 2名
 上野原市 2名

2. 職員

施設長 1名 サービス管理責任者 2名 就労支援員 1名
 就労定着支援員 1名 目標工賃達成指導員 2名 職業指導員 8名
 生活支援員 8名 調理員 2名 事務員 1名

3. 開所日数・延べ利用人数・1日平均利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
生活訓練	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	人
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
就労移行	日	22	21	20	23	21	21	23	21	21	19	20	21	253	4.4人
	人数	121	98	98	101	88	90	102	95	88	86	80	85	1,132	
就労B型	日	24	23	21	23	21	21	23	21	21	21	20	21	260	32.9人
	人数	742	746	704	773	671	688	741	703	706	700	691	706	8,571	
合計	日	15.3	14.6	13.6	15.3	14.0	14.0	15.3	14.0	14.0	13.3	13.3	14.0	170.7	56.8人
	人数	863	844	802	874	759	778	843	798	794	786	771	791	9,703	

4. 工賃・謝金等支払月別状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
生活 訓練	支払総額							
	平均謝金							
就労 移行	支払総額	36,000	27,915	41,405	32,700	33,460	32,390	34,755
	平均賃金	6,000	5,583	8,281	6,540	6,692	6,478	6,951
就労 B型	支払総額	390,368	392,715	392,364	403,972	401,224	389,856	390,867
	平均賃金	10,844	10,614	10,604	10,918	10,844	10,537	10,564
		11月	賞与	12月	1月	2月	3月	合計
生活 訓練	支払総額							
	平均謝金							
就労 移行	支払総額	31,875	138,981	25,705	21,055	23,920	26,085	506,246
	平均賃金	6,375		5,141	4,211	4,784	5,217	8,165
就労 B型	支払総額	379,984	1,372,151	383,865	384,781	397,028	2,087,923	7,767,098
	平均賃金	10,270		10,102	10,399	10,730	56,430	17,493

5. 活動報告

①自立訓練(生活訓練)

前年度の利用者3名が就労移行支援にサービス変更したため、利用者ゼロでスタートしました。
相談支援専門員等の紹介で、見学をした方もいましたが、利用にはつながりませんでした。
少人数のなかで、生活の基盤を整え生活経験を広げる支援を、きめ細かくできる生活訓練の良さを関係機関にアピールし、利用者の獲得に繋げていきたいと考えています。

②就労移行支援・就労定着支援

個別訓練(パソコン、各種運転免許、読み書き・計算、金銭管理、清掃 等)
就職準備訓練(ビジネスマナー、履歴書等書類の書き方、面接練習、会社見学
ハローワーク活用 等)
作業訓練(部品の検査や組み立て、洗車作業、環境整備作業 等)
施設外訓練(企業実習、施設外支援や施設外就労の提供 等)
施設見学(複合型福祉施設・A型事業所)
生活訓練との合同勉強会(携帯電話使用のモラル・マナー)
その他(研修会やイベントへの参加)

<就労移行支援事業>

令和6年度は、職員体制も変わり、生活訓練からの利用者3名を受け入れ、6名でスタートしました。

一般就労に向けた取り組みとしては、企業見学が6件(6社)、企業実習が5件(5社)、就職件数が0件でした。1年間、就職に向けた実践的な取り組みと位置付け見学や実習に力を入れて取り組み、そこから抽出された課題について、利用者、職員で共有し、改善できるよう支援してまいりましたが、就職につなげることができませんでした。企業とのマッチングの難しさ、利用者1人1人の特性に合わせ、就職につなげていく、知識や支援スキルの向上の必要性を実感しました。

また、毎月の職員会議については、昨年度から引き続き各課ごとに実施をすることで、利用者1人1人の状況を密に共有することができ、活発な意見交換ができたことで、職員間の連携も強化されたと感じます。

<就労定着支援事業>

令和6年度は、前年度から継続し4名の方にサービスを利用していただきました。利用期間満了、利用者負担額の発生、退職と理由は様々ですが、3名の方がサービス終了となりました。安定し長期的に勤務していただくために必要な利用者への支援スキルや企業への対応力の向上が必要だと感じました。

③就労継続支援B型

精密部品加工作業 チラシ等封入作業 紙器加工 野草等計量梱包作業
シール貼り作業 保冷剤袋入れ作業 リサイクル品の収集と処理作業
農作業 環境整備作業 縫製作業 マスク・ビーズアクセサリー製作
施設外就労 うどんカフェや企業での就労及び実習 菓子等製造 食品加工
地域交流活動 地域清掃活動 体力作り 創作活動 四季の行事体験 時事学習

令和6年度は、利用者36名でスタートしました。新型コロナの感染状況も落ち着き、市民夏まつりや富士ふれあいの村まつり、春和祭など数々のイベントに参加し、日々の仕事と合わせ、工賃向上に取り組めました。その結果、目標にしていた工賃1万5千円を上回り、1万7千円を超えることができました。

感染状況が落ち着いてきたとはいうものの、時に、ご本人や家族が感染してしまうケースがあり、感染予防活動は、念入りに怠ることなく続けてまいりました。

利用者の支援については、月に1度の職員会議にて、利用者の情報やモニタリングの状況を共有し、個別支援計画に沿った支援の統一化を図りました。また、緊急性のある事案はラインで情報交換を行い、課題が多い利用者については、職員全体でケース会議を開催するなど、課題解決に向けて取り組みました。

<作業係>

令和6年度は、新しい職員が2名増え、作業配置に余裕ができた一方、内職作業の検品に不備が出てしまうことがあり、対策として、職員のミーティングの時間を設け、作業の注意事項の確認や利用者の支援について共有し、ミスをなくすよう取り組みました。また、リサイクル用のトラックが故障し、代替えに軽トラックを利用しましたが、堆積量に限界があり、その分回数が増え、燃料費との兼ね合いから、火、木曜日のクロダ（株）の回収作業を中止することになりました。空いた時間は、回収コースを見直したり、施設整備に充てました。

利用者の作業環境については、利用者の特性を考慮し、作業室を分けたり、カーテンスペースを設ける工夫を行い、また、ライフサポートセンターさかえの空きスペースを活用するなど、利用者が安心して穏やかな気持ちで、作業に臨めるよう取り組みました。

また、新型コロナウイルス含めた感染症対策として、日々の健康チェック、マスク着用、手洗い・うがい、消毒などを継続し、利用者1人1人が健康で安心して通所できるよう取り組みました。

<お菓子係>

令和6年度も前年度に引き続き、利用者の方と職員の健康・衛生面のチェックを心がけて作業に取り組みました。作業は個々のペースに合わせて行い、利用者の方が自主的に作業を行うことができるように手順書を用い、クッキー生地を切る作業やシール貼り作業などがやりやすいように治具を工夫し活用しました。オーブンの出し入れや温度設定・ガス栓等も利用者さんにしてもらうように取り組みました。また、材料費や光熱費の高騰もあり、値上げや容量を減らし対応しました。

徐々にイベントの開催が増え、少しずつですが販売出品することができました。道の駅等の委託販売先での売れ行きは良く、丁寧にお菓子作りや加工食品の製作にも取り組むことができました。大きな怪我をすることなく、安全・安心に調理をすることができました。衛生面の振り返りの時間が取れたりという良い面もありました。

一人一人の任される幅が広がり、今後も利用者の方の働く意欲を引きだせるよう、精進してまいります。

<ありんどう係>

令和6年度は、市民会館で行われるイベントが徐々に増えてきたことに伴い、来店者数も増えてきました。しかし、原材料費や光熱費の高騰の影響を受け、収益が思うように伸びない現状を受け、ありんどうの運営や体制について検討をし、8月からは火曜日を休業日とする対応をとりました。

ありんどうで働く利用者に対しては、「開店準備」「接客」「閉店後の掃除や片付け」のマニュアルを活用し、見通しをもって働くことができるように支援をしてきました。また就労移行支援の利用者が施設外での作業体験をする場として位置づけ支援をしてきました。

＜厨房係＞

令和6年度は現状維持で、無理のない範囲で外注弁当を引き受けましたが、原材料や光熱費の高騰の影響でほとんど利益はありませんでした。原材料の見直しの為、調味料等はなるべく低価の物を選ぶようにしました。

嗜好調査も行いました。利用者の好き嫌いの食べ物の幅が広く、まとめるのが大変でしたが、結果をもとに魅力ある献立作りができるように努めてまいります。

利用者の方々の作業意欲が落ちないように声かけやそれぞれの特性を活かした支援を行いました。

④その他

定 例 職 員 会 議	職員会議：第3木曜に各課会議を行い、必要時全体職員会議を行う。 厨房会議・ありんどう会議（随時）
支 援 計 画	個別支援計画に係るケース会議、説明並びに同意の面談の開催（随時） 計画相談における関係者会議やモニタリングへの出席（随時）
職 員 研 修 会	・10/17（木）法人職員研修（救命救急AED講習会） ・12/2（月）4（水）サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者更新研修 ・12/26（木）発達障害者就労支援研修会 「発達障害児者に対する自立支援～子供の育ちから就労支援について考える～」 ・2/20（木）法人職員研修（虐待防止・権利擁護） ・12/5（木）食品衛生責任者実務講習会（厨房・お菓子・ありんどう） ・2/27（木）山梨県障害福祉従事者スキルアップ研修 ・3/19（水）障害者支援施設関係者向け研修会～本人が望む暮らしの実現～
会 議 へ の 出 席	・富士北麓圏域自立支援協議会 就労支援部会 ・山梨県知的障害者支援協会 評議員会・スタッフ部会 ・ふじざくら支援学校学校評議員会
実習・体験受入れ	ふじざくら支援学校 富士吉田市立看護専門学校 昭和大学 都留文科大学 山梨大学 佛教大学 相談支援専門員の紹介者

月	日	曜	主な活動内容
4	1	月	新年度開始式
	20	土	障害者フライングディスク大会郡内大会
	27	土	富士吉田市立看護学校春和祭出店参加 三和防災 消防用設備等定期点検
	29	月	昭和の日 開所日(バーベキュー)
5	14	火	B)小梅採り(山梨市 広瀬農園様)
	19	日	障害者スポーツ大会(陸上・フライングディスク)8名参加
	25	土	障害者スポーツ大会(ボウリング)1名参加
	28	火	ふじざくら支援学校 I 期実習(～6/7)就労移行2名
	31	金	渡邊栄元施設長のお墓参り
6	5	水	厨)山中湖村長寿会運動会 お弁当提供
	11	火	麦の穂ミニ交流会(ふれあいセンター) B)梅採り(永田様畑にて)
	14	金	Bあ) いずみの会総会(ありんどうにて飲食提供)
	24	月	介護等体験実習生2名受け入れ(～6/28)
	26	水	避難訓練(火災想定・消防署立ち合い)
	27	木	富士吉田市立看護専門学校実習7名受け入れ
	30	日	ふじみサロン祭・昭和大寮祭 出店参加
7	6	土	パルパル祭出店参加
	8	月	介護等体験実習生1名受け入れ(～7/12)
	15	月	海の日開所日 (ハローワーク草刈り剪定作業)
	23	火	ありんどう キッズサポート様18名来店
	27	土	市民夏まつり出店参加
8	6	火	就)会社見学 (ディスペンパック様) あ)8月より火曜日休業とする
	7	水	芋ほり体験 (佐藤様畑にて)
	12	月	山の日振替休日 開所日
	13	火	開所日(送迎なし) ありんどう(13日～16日夏期休業)
	14	水	開所日 大明見夏祭り出店参加
	15	木	開所日
	30	金	あ)台風10号の影響により臨時休業
	28	月	富士ふれあいの村祭り作品展出展(～9/22)
9	2	月	就) 職場実習1名(富士急ハイランド)～9/6 障害者文化展開催(BELL)～9/6
	4	水	あ)FM富士五湖「吉田のうどん店」取材(10/11放送)

月	日	曜	主な活動内容
10	14	土	富士ふれあい村祭り出店・ステージ参加（ありんどうは臨時休業）
	16	月	敬老の日 開所日
	18	水	お稲荷様 馬頭観音様 お詣り
	25	水	ふじざくら支援学校よりⅡ期実習生受け入れ（～10/8 就労移行2名）
	26	木	就)会社見学(サニーソフト)
	30	月	介護等体験実習生2名受け入れ（～10/2）
	7	月	富士北稜高校交流学习事前授業
	9	水	ふじざくら支援学校よりⅡ期実習生受け入れ（～10/11 就労移行 1年生1名）
	18	金	山梨県障害者文化展地域展（～10/22 BELL）期間中出展者9名見学（1名総合展へ出展）
	14	月	スポーツの日・開所日
	15	火	昭和大学初年次体験実習① 4名受け入れ
	16	水	昭和大学初年次体験実習② 4名受け入れ
	17	木	法人職員研修(救命救急AED講習会)
	19	土	三和防災様 定期点検
	21	月	昭和大学初年次体験実習③ 4名受け入れ
	23	水	昭和大学初年次体験実習④ 4名受け入れ
	25	金	昭和大学初年次体験実習⑤ 4名受け入れ
	26	土	全国障害者スポーツ大会(佐賀県)佐藤直哉さんボウリング種目出場
11	28	月	富士北稜高校交流学习①
	1	金	富士北稜高校交流学习②
	4	月	文化の日 開所日(赤い屋根ともだちフェスタ出店参加・見学)
	5	火	就)職場実習1名 ミナモト（～11/18）
	6	水	就)職場実習1名 シチズンシステムズ（～11/18）
	8	金	厨)連合山梨様 サンドイッチ提供
	11	月	富士北稜高校交流学习③
			介護等体験実習生1名受け入れ（～11/15）
	15	金	避難訓練(地震想定) 保護者との連絡会(災害時の対応、災害伝言ダイヤル体験等)
	18	月	堀内詔子衆議院議員来所
12			ふじざくら支援学校高1生職場見学
	19	火	(株)クロダ 再資源化物回収業務委託契約終了
	22	金	事業所日帰り研修旅行(静岡方面:生命の星・地球博物館、アサヒ飲料富士宮工場見学)
	2	月	利用者定期健康診断
			明見中学校環境美化委員様よりプランター3鉢寄贈
	5	木	食品衛生責任者実務者講習会(厨房・お菓子・ありんどう)
	8	日	富士吉田市障害者団体連絡協議会「いずみ」主催ボウリング大会

月	日	曜	主な活動内容
1	23	月	B)クリスマス菓子引き渡し
	27	金	2024年仕事納め 大掃除 忘年会
	6	月	2025年仕事始め
	13	月	成人の日 開所日
	16	木	就)職場実習1名 ホンダ(～1/31)
	21	火	就)トライアル雇用開始(シチズンシステムズ) 地域生活支援事業所協議会郡内支部ボウリング大会参加
2	26	日	新年互例会 (ありんどうは臨時休業)
	3	月	ふじざくら支援学校実習生2名(～2/7)
	6	木	初午祭
	10	月	B)バレンタイン菓子引き渡し
	11	火	建国記念日 開所日
	20	木	法人職員研修(権利擁護)
3	24	月	天皇誕生日振替休日 開所日
	5	水	積雪のため2時間遅れ
	10	月	非常食体験
	12	水	B)ホワイトデー菓子引き渡し
	14	金	ポップサーカス山梨公演観覧①
	17	月	積雪のため1時間遅れ
	18	火	ありんどうの椅子20脚 交換していただく
	19	水	積雪のため2時間遅れ
	24	月	ポップサーカス山梨公演観覧②

グループホームあさひ・そよかぜ

令和6年度事業報告書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

1. 利用者

◎ GHあさひ (定員 5名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	5
退居者	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
合 計	5	5	5	5	4	4	5	5	5	5	5	5

◎ GHそよかぜ (定員 7名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者	7	6	6	6	6	6	6	6	7	7	7	7
退居者	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
合 計	7	6	6	6	6	6	6	6	7	7	7	7

◎支給決定市町村 富士吉田市 (9名) 都留市 (2名) 上野原市 (1名)

2. 職員

統括管理者 (常勤) 1名
 サービス管理責任者兼世話人 (常勤) 1名
 世話人 (非常勤) 7名

3. サービス内容

- (1) 食事の提供 (朝食 夕食)
- (2) 日常生活の支援
 - ・ 日中活動の支援
 - ・ 掃除、洗濯、買い物等への支援及び働きかけ
 - ・ 悩みや不安などの相談事への助言等の支援
- (3) 医療及び健康管理の支援
- (4) 金銭管理の援助
- (5) 障害者総合支援法に係わる申請の援助
- (6) 行政手続きの代行

4. 総括

令和6年度は、あさひは5名、そよかぜは7名、合わせて12名でのスタートとなりました。そよかぜは5月には1月に骨折し入院していた利用者が、リハビリ施設に入所のため退所しました。その後9月には再手術となりましたが、12月にそよかぜを再利用できるまで回復しましたので事業所、家族、関係者と配慮や対応について話し合いを行い利用を開始しました。あさひは、6月から就職した利用者が一人暮らしのため8月に退所しました。その後10月には1名の体験利用者があり11月には本利用になりました。年度末には12名の利用者に落ち着きました。

今年度はコロナも落ち着き、1名帰宅中にコロナ感染がありましたが、他の方はかからず、大きな風邪を引いた利用者さんもしませんでした。そんな中バーベキュー交流会や旭町のお祭りや年末のクリスマス会、忘年会、年度末には花ちゃんカフェという障害のある方々が働くカフェにも食事会に行くことができ、気分転換になったり刺激になったりしたかと思います。

利用者も20代から70代と幅広い年齢層の方が利用していますが、50代以上が9名となり高齢化が進んできています。この問題は来年度の課題にし関係者と取り組んでいきたいと思っています。

これからも利用者の健康管理に努め、グループホームが過ごしやすいところ、安心・安全なところであるように、働く職員、世話人にとっても風通しのよい場所になるように努めてまいります。

6. 活動報告

月	日	曜	活 動 内 容
4	1	月	利用者1名、就労移行支援事業(他法人)利
	14	日	旭春祭りに出店参加
	27	土	防災点検(三和防災)
5	19	日	あさひ・そよかぜ合同バーベキュー
	19	日	フライングディスク大会2名参加
6	20	木	あさひ避難訓練
	27	木	そよかぜ避難訓練
7	6	土	理事長お母様通夜参列
8	9	金	利用者1名あさひ退所
	11	日	旭町夏祭り出店(あさひ)
9	18	水	お稲荷さん参り
	18	水	合同食事会
10	17	木	AED講習会
	19	土	防災点検(三和防災)
11	1	金	利用者1名あさひ利用開始
	5	火	そよかぜインフルエンザ注射(楽天堂整形外科)
	6	水	あさひインフルエンザ注射(楽天堂整形外科)
	12	火	あさひ防災訓練
	14	木	そよかぜ防災訓練
12	2	月	利用者1名そよかぜ利用開始
	23	月	クリスマス会・忘年会
1	26	日	新年互礼会参加
2	6	木	初午祭参加
	20	木	虐待研修
3	8	土	あさひ食事会
	22	土	そよかぜ食事会
	31	月	利用者1名、就労移行支援事業(他法人)利用開始

短期入所事業所ありが亭
令和6年度事業報告書

（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

1. 事業の内容

障がい者が可能な限りその地域における生活が継続できることを念頭において、居宅の生活が一時的に困難になった障がい者に対し入浴・排せつ・食事・着替えの介助・見守りその他必要なサービスを提供して、日常生活上の支援を行います。

2. 登録利用者 男性 16人 女性 5人 合計 21人

支給決定市町村	富士吉田市 （8名）	富士河口湖町 （8名）	忍野村 （4名）
	西桂町 （1名）		

3. 利用実績

5月に緊急の方1名

9月に緊急の方1名

11月に緊急の方1名

合計11日間の利用実績がありました

4. 職員

管理者	1名	生活支援員	5名
-----	----	-------	----

5. 総括

今年度は、人員体制的な問題により再開することができず、緊急時のみの対応となっていました。令和7年度再開に向けて体制を整えてまいりたいと思います

相談支援事業 令和6年度事業報告書

(令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日)

1. 事業の内容

◎ <指定特定相談支援及び指定障害児相談支援事業>

当事者についてのアセスメントに基づきサービス等利用計画を作成する。サービス等利用計画の作成後、実施状況の把握「モニタリング」を行い、必要に応じて計画の変更、福祉サービス事業者等との連絡調整等を行う。

(相談支援を利用している障害者等の人数)

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	実人員
障害者	68	8	202	114	10	2	118	513
障害児	1	0	20	0	30	0	30	74
計	69	8	222	114	40	2	148	587

契約者数	154	解約	9
新規契約	18		

(支援方法)

訪問	454
来所相談	26
同行	14
電話等相談	770
電子メール	22
個別支援会議	1
関係機関	26
その他	221
計	1,534

(支援内容内訳)

福祉サービスの利用等に関する支援	340
障害や病状の理解に関する支援	31
健康・医療に関する支援	132
不安の解消・情緒安定に関する支援	37
保育・教育に関する支援	8
家族関係・人間関係に関する支援	76
家計・経済に関する支援	48
生活技術に関する支援	74
就労に関する支援	27
社会参加・余暇活動に関する支援	2
権利擁護に関する支援	20
その他	739
計	1,534

利用計画作成件数	99	モニタリング件数	293
----------	----	----------	-----

◎ <指定一般相談支援事業>

障がい者支援施設、精神科病院に入所又は入院している障がい者を対象に住居の確保、その他の地域生活へ移行するための支援を行う。 ※令和6年度の実績なし

2. 職員の職種、員数及び職務内容

- (1) 管理者 1名 (非常勤)
- (2) 相談支援専門員 2名 (常勤専任 1名、非常勤専任 1名)
- (3) 相談支援員、地域移行支援・地域定着支援を担当する者

3. 通常の事業の実施地域

富士北麓6市町村（富士吉田市 富士河口湖町 西桂町 忍野村 山中湖村 鳴沢村）
その他、近隣市町村。 ※相談によってはこの限りではない。

4. 主たる対象者

身体障がい者 知的障がい者 精神障がい者 障がい児 難病患者など

5. 総括

前年度より、契約者数は9名、新規契約者は7名、解約者は4名増えた。給付費をいただいた件数は391件あり、前年度より増加した。

契約者の傾向として、発達障がい者、精神障がい者が増加しており、様々な障がいに対しての知識や、相談技術が求められている。障がいの特性に応じた専門研修に積極的に参加することで、知識をより深めるとともに、事業所加算の取得に努めたい。

富士北麓自立支援協議会【相談部会・地域移行部会・プロジェクト会議】や、主任相談支援専門員ネットワーク会議に参加し、地域福祉との連携体制作りができた。相談支援ネットワークやまなしの研修などには参加できなかったため、県単位での地域福祉との更なる連携の強化をしていきたい。

障がい者就業・生活支援センターありす

令和6年度事業報告書

(令和6年 4月 1日～令和 7年 3月 31日)

<雇用安定等事業>

1. 就業支援の実施

主任就業支援員 1 名、就業支援員 1 名を配置し以下の業務を実施

(1) 相談・支援の実施

- 障害者からの相談に応じ、その就業及びこれに伴う日常生活上の問題について、必要な指導及び助言その他の支援を行う。
- 事業主に対して障害者の就職後の雇用管理に係る助言等を行う。
- 障害者に対して、職業準備訓練及び職場実習をあっせんする。

障害者に対する相談支援		事業主に対する助言		職場実習のあっせん	
対象者数	368人	対象事業所数	103件	実習件数	24件
相談件数	2,160件	相談件数	639件		
就職件数	38件				

(2) 在職者交流会の実施

在職者の交流参加希望者に対して交流会を実施する。交流会では、グループワーク等で職場の悩みを話し合う場を提供し、不適応課題の早期把握、改善を図り、職場定着を促進している。令和6年度は、7回開催した

(3) 就業支援担当者の研修等

障害者就業・生活支援センター就業支援担当者経験交流会議に出席し、他のセンターとの交流・情報交換を行なった。

【障害者就業・生活支援センター意見交換会】

日程：令和6年11月14日

※今年度は、Webでの意見交換会となった。

(4) 移動相談(ハローワーク巡回相談)

各ハローワークにて毎月1度相談日を設け、就労についての相談を行い、ニーズの掘り起こしや、当センターの周知を行なった。

身体	知的	精神	発達	難病	高次	その他	合計
4件	5件	19件	10件	1件	1件	2件	42件

2. 関係機関との連絡会議の開催

業務の円滑かつ有効な実施に資するため、他の就業・生活支援センター及び、ハローワーク、就労移行支援事業所、特別支援学校、自治体、福祉事務所等の関係機関との連絡会議を開催または出席し、これら機関との連携を図った。

＜生活支援事業＞

1. 生活支援の実施

生活支援員（常勤）1名 を配置

登録された障害者に対する支援

活動内容	実施期間	実施方法	
各種相談活動	随時	家庭・施設・学校・職場等への訪問または電話やメールによる相談。または来所相談。	1,781件
同行支援	随時	各種手続きやハローワーク等への同行支援。	115件
その他	随時	必要とされる支援	111件

2. 関係機関との連絡調整

- 就業・生活支援センター合同会議 3ヶ月に1回開催
- 富士・東部自立支援協議会 2ヶ月に1回開催
- 連絡調整会議 随時開催

＜総括＞

山梨県内における民間企業（40.0人以上規模の企業：法定雇用率2.5%）に雇用されている障害者数は 2,283.5人で、前年より7.5%（158人）増加し、12年連続で過去最高となった。※令和6年度12月20日山梨労働局発表

ありすの前年度の就職件数は31件であったが、今年度は38件と7件の増加となった。特に精神障がい者の就職件数が12件、発達障がい者の就職件数が9件と微増であるが増すことができた。特に、発達障がい者の登録件数が10人以上増えており、ニーズの高さが窺える。精神障がい、発達障がいに対しての認識不足や雇用管理の難しさから敬遠される企業も多いため、障がい特性などの勉強会や周知などを積極的に行う必要があると感じている。

障がい者の中には障がいの受容ができておらず、働く経験が少ない方も多くおり、クローズ(障がいを隠して)で働いたり、障がい者雇用だから周りが配慮することが当前に思っている方もいる。中には「今生活ができてから働かなくてもいいや」と思う方もおり、行政などから繋がってきても先に進まないケースもある。

在職者交流会は、年7回開催し、97名の方に参加していただいた。働いている方からの話(ピアサポート活動)は4回実施し、参加者には良い刺激となっている。働く意欲の向上にもつながっており、令和7年度も継続していく。

移動相談は毎月各ハローワークにて相談日を設け、就労に関する相談を受け付けている。各ハローワーク合わせて36回行い、42名の方の相談を受けた。相談の内容は「就業に向けた相談・支援」が22件と最も多く、次いで「就業と生活にわたる相談・支援」が15件となっている。

令和6年度の相談件数は2,160件あり、精神障がい(1,031件)と発達障がい(478件)を合わせて全体の6割を占めている。今後も増加することが見込まれるため、精神障がいや発達障がいの研修や勉強会などに積極的に参加し研鑽を積み、支援の強化を図る。